

「警報避難」コース

【各講義の内容と学習目標】

受講期間 オンデマンド：R3年1月18日（月）～1月31日（日）
 リアルタイム：2月4日（木）13:00～16:30

手法	No.	単元名	単元の概要	No.	時間	講師名	学習目標
講義	1	警報避難総論	警報避難対策の基本的な考え方と事前対策を学ぶ。	1	60	井ノ口 宗成 (富山大学)	・警報等の伝達及び避難誘導の目的、実施主体と役割について説明できる。 ・警報等の伝達及び避難勧告等の判断・伝達の流れについて説明できる。
	2	警報等の種類と内容	警報等の種類と内容、伝達を学ぶ。	2	72	高橋 賢一 (気象庁)	・注意報と警報、特別警報の意義付けと意味について説明できる。 ・警報等の入手方法と伝達にかかる主体について説明できる。
	3	避難勧告等の判断・伝達	避難勧告等の判断と伝達方法について学ぶ。	3	38	菅 良一 (内閣府)	・住民等の避難行動の考え方について説明できる。 ・災害ごとの避難準備情報や避難勧告等の判断に必要な考え方について説明できる。 ・避難勧告等を住民に伝達し、周知するための伝達方法について説明できる。
	4	土砂災害における警報と避難	土砂災害における警報と避難の実務について学ぶ。	4	57	池谷 浩 (砂防・地すべり技術センター)	・土砂災害における警報と避難の実務について説明できる。
オンライン	5	土砂災害の事例に学ぶ	土砂災害の事例から土砂災害における警報と避難について、その実態を演習形式で学ぶ。	5-1	21+a	井ノ口 宗成 (富山大学)	・土砂災害における警報と避難の難しさを説明できる。 ・土砂災害における警報と避難の決心ポイントを説明できる。 ・土砂災害における警報と避難におけるスネークラインの活用を説明できる。
				5-2	18	越野 修三 (岩手大学)	
講義	6	風水害における警報と避難	風水害における警報と避難の実務について学ぶ。マイタイムライン、避難計画などについて理解し、高齢者、障がい者、外国人への配慮など、避難誘導の際に留意すべき点について学ぶ。	6-1	10	井ノ口 宗成 (富山大学)	・風水害における警報と避難の実務について説明できる。
				6-2	13	梶原 秀一・平川 淳史 (大分県日田市)	・水害時における災害対応の難しさを説明できる。
				6-3	19	青木 克也 (大分県日田市)	
				6-4	30	高木 康伸 (内閣官房)	
ワーク	7	風水害からの警報避難における決心	風水害における警報と避難の決心ポイントを演習形式で学ぶ。	7-1	9+a	井ノ口 宗成 (富山大学)	・風水害・土砂災害の予兆現象の活用について説明できる。
				7-2	6	高木 康伸 (内閣官房)	・風水害・土砂災害における警報と避難の困難性について説明できる。
	8	風水害におけるタイムライン計画	風水害における警報と避難のタイムライン計画の作成方法を演習形式で学ぶ。	7-3	19	越野 修三 (岩手大学)	・風水害・土砂災害における警報と避難の決心ポイントを説明できる。
				8	44+a	井ノ口 宗成 (富山大学)	・風水害における警報と避難のタイムライン計画の作成方法について説明できる。 ・外部／内部調整をタイムラインで整理する方法を説明できる。
講義	9	避難場所・避難所の認定と適否判断	住民等の避難行動の目的となる避難場所・避難所の種類とその設置要件及び災害ごとに避難場所・避難所の適否判断をするうえでの行動を演習形式で学ぶ。	9	14	井ノ口 宗成 (富山大学)	・避難場所・避難所の種類と内容について説明できる。 ・風水害で被災した避難所の事例を説明できる。
リアルタイム	10	避難場所・避難所の認定と適否判断	避難場所・避難所の認定と適否判断	10	60	井ノ口 宗成 (富山大学) 越野 修三 (岩手大学) 高木 康伸 (内閣官房)	・避難場所・避難所の適否判断の基本的な考え方について説明できる。 ・避難場所・避難所の適否判断を適切に行うためのポイントを説明できる。 ・避難所点検手順書による適否判断 ・過去災害を事例とした避難所の適否判断を行う。
				11	75+30	井ノ口 宗成 (富山大学) 越野 修三 (岩手大学) 高木 康伸 (内閣官房)	・研修受講の目的を再認識する。 ・研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・研修を活かして次につなげることを認識する。
演習	11	全体討論/質疑応答	防災力向上のため、警報避難について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるのかを考える。				